

2020年6月5日

各位

会社名 富士ダイス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西嶋守男
 (コード番号: 6167 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役業務本部長 春田善和
 (TEL. 03-3759-7182)

(訂正)「2020年3月期 決算説明資料」の一部訂正について

2020年6月4日に公表いたしました「2020年3月期 決算説明資料」の一部に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正理由

2020年3月期の総括及び2020年3月期の当社単体の経営指標に関して、記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正の内容

16 ページ 2020年3月期の総括

(訂正前)

2020年3月期の総括

FUJILLOY

連結売上高	17,426 百万円	(前期比 94.9%) (計画比 93.2%)
連結経常利益	1,008 百万円	(前期比 74.8%) (計画比 72.6%)

- 売上高、経常利益ともに前年度の業績を下回った。
- 顧客主要産業分類別では、“輸送用機械”や“生産・業務用機械”が堅調に推移したが、それ以外の分野は低調だった。
- 製品別では“自動車部品生産用金型”や“光学素子成型用金型”、“電池関連金型”“熱間圧延ロール”や“超高压発生用工具”の販売が好調だったものの、“引抜鋼管”の販売不振に加え、“混練工具”や“冷間フォーミングロール”、“半導体及びスマートフォン部品生産用の超硬金型素材”等の販売が低調となった。
- 利益面では、長期化する米国の通商政策による貿易摩擦、消費増税や相次ぐ自然災害に伴う消費マインド低下等の影響による売上減で、前期比減益となった。

(訂正後)

2020年3月期の総括

FUJILLOY

連結売上高	17,426 百万円	(前期比 94.9%) (計画比 93.2%)
連結経常利益	1,008 百万円	(前期比 74.8%) (計画比 72.6%)

- 売上高、経常利益ともに前年度の業績を下回った。
- 顧客主要産業分類別では、“輸送用機械”や“生産・業務用機械”が堅調に推移したが、それ以外の分野は低調だった。
- 製品別では“自動車部品生産用金型”や“光学素子成型用金型”、“電池関連金型”“熱間圧延ロール”や“超高压発生用工具”の販売が好調だったものの、“引抜鋼管”の販売不振に加え、“混練工具”や“冷間フォーミングロール”、“半導体及びスマートフォン部品生産用の超硬金型素材”等の販売が低調となった。
- 利益面では、長期化する米国の通商政策による貿易摩擦、消費増税や相次ぐ自然災害に伴う消費マインド低下等の影響による売上減で、前期比減益となった。

49 ページ 参考経営指標（富士ダイス単体）

（訂正前）

参考経営指標（富士ダイス単体）



- 富士ダイス単体の主な経営指標は以下のとおりです。

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年3月期	2020年3月期	
	実績	実績	前期比
売上高	16,315 (100.0%)	15,708 (100.0%)	96.3%
経常利益	1,456 (8.9%)	991 (6.3%)	68.1%
当期純利益	1,161 (7.1%)	634 (4.0%)	54.7%
純資産額	17,609	17,728	100.7%
総資産額	23,952	23,102	96.5%
自己資本比率	73.5%	76.4%	+2.9%

（訂正後）

参考経営指標（富士ダイス単体）



- 富士ダイス単体の主な経営指標は以下のとおりです。

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年3月期	2020年3月期	
	実績	実績	前期比
売上高	16,315 (100.0%)	15,708 (100.0%)	96.3%
経常利益	1,456 (8.9%)	991 (6.3%)	68.1%
当期純利益	1,161 (7.1%)	634 (4.0%)	54.7%
純資産額	17,609	17,728	100.7%
総資産額	23,952	23,102	96.4%
自己資本比率	73.5%	76.7%	+3.2%

以上